

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ここっとnico		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26 日		～ 2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26 日		～ 2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもの状況を把握し保護者様と伝えあい、共通理解を行えているところ。	送迎時の共有を徹底して行い、その中で保護者様が悩まれている事柄等について把握し、一緒に解決法を考えている。	より具体的なアドバイス等が行えるよう、各職員子どもとのコミュニケーションを取りながら、理解を更に深めていく。
2	個人情報の取り扱いの徹底。	写真撮影等で対象児童以外の顔や名前が映り込んでいる際には、必ず隠した写真を配信していること。併せて、作業スペース等に子どもの個人情報はおかないこと。ご見学や外部の方が来られる際には、名前を隠し個人情報が漏れないように配慮している。	引き続き、全職員が個人情報の保護についての意識を持ち業務にあたる。
3	活動のプログラムが固定化されないように工夫している。	毎月のイベントや、日々の療育内容等を都度見直しながら固定化しないよう各職員で意見を交えながら考えている。	今後も、子ども一人ひとりに合った療育内容や楽しく安心して通える施設となるよう活動内容を考え、環境設定を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園との交流やその他地域での他の子どもと関わる機会が少ないこと。	安全面への配慮や日々の療育活動の充実を優先してきたことにより、外部交流の機会が限定的となっている。	今後は、無理のない範囲で段階的に地域とのつながりを広げていく取り組みを検討していく。
2	保護者様同士の関わる機会を設けられていないこと。	送迎時間の分散や保護者様の就労状況等により、保護者様同士が交流できる機会を十分に設けられていない。	イベント等で参加しやすい形式での機会を作り、希望制で実施できるよう検討していく。
3	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)が浸透できていないこと。	日々の面談や送迎時の共有、リズム等を通して支援方法の共有は行っているが、体系的なペアレントトレーニングとして十分に浸透できていない点が課題としてあげられる。	・実践後の振り返りの機会を設け、効果や課題を共有する。 ・個別支援計画と連動させ、継続的なフォロー体制を整える。 ・職員間で支援方針を統一し、伝達内容の標準化を図る。